

伸縮装置取替工の作業手順

制定・改定日 2022.2.18

項 目	内 容	留 意 事 項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検 	<ul style="list-style-type: none"> 指示書の内容確認 安全打合せ書による。 作業別安全チェックシートの活用。
カッター工	<ul style="list-style-type: none"> コンクリートカッターで施工予定ラインに沿って舗装を切断する。 	<ul style="list-style-type: none"> センターライン付近の作業は、一般車に注意する。 機械使用後は、水抜きを行い、歯止めをかって路肩に置く。 ブレード付近には、手、足を近づけない。
はつり工	<ul style="list-style-type: none"> 既設後打ちコンクリートをブレーカー、ピック等を使用して、はつり取りはつり終了後は、綺麗に清掃する。 既設アンカーはすべて撤去する。 取り壊し検測を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 車線側には必ず飛散防止ネットを設置する。 作業に合った保護具を使用する。 橋梁下に落下物が無い様にシート、ウレタンフォーム等で養生を行う。 ブレーカーの外れ止めの設置
アンカー打設	<ul style="list-style-type: none"> 伸縮装置の設置図に従い、所定の深さ削孔しケミカルアンカーを打設する。 アンカー打設本数検測をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 削孔等により緩んだコンクリートは、撤去する。 鉄筋切断時はキックバックに注意する。
伸縮装置設置工	<ul style="list-style-type: none"> 伸縮装置の遊間を調整し、所定の高さに設置する。 遊間にコンクリートが入らないよう、ウレタン等を使用して、所定の遊間を確保する。 通し鉄筋を設置し伸縮装置のアンカーバーと、打設したアンカーを溶接してしっかりと接合する。 鉄筋の配筋を検測する。 	<ul style="list-style-type: none"> 有資格者による、機械作業を行う。 溶接火花の飛散防止を行う。 溶接時には、消火器等を用意し火災に十分備える。
超速硬コンクリートの打設	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート打設面を清掃し、水を散布し湿らせる。 ジェットモビル車にて超速硬コンクリートを打設する。この時、左右に移動しながら打設しパイプレーターをしっかりとかける。 また打設後は、素早く金鍍仕上げを行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 車輛の移動時には、必ず誘導を行う。 センターライン付近の作業は、一般車に注意する。
養生	<ul style="list-style-type: none"> 養生は、通常3時間行い、簡易試験器で圧縮強度試験を実施する。 皮膜養生剤及びシート等で養生を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> シート養生は、風等での飛散防止処置を行う。 開放可能強度 24N/mm²以上
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に竹ぼうきなどで清掃する。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 はつりかす、材料かすが無い様に、綺麗に清掃する。

作業編成(標準)	機材	資材	安全器具・保護具
			ヘルメット
			反射(自発光)チョッキ
			警笛
			防塵マスク
			保護メガネ
			耳栓

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

■注意事項(共通の指導事項)

- 1.作業に合った保護具を使用する。
- 2.センターライン付近の作業は、十分注意を行う。
- 3.各作業は、有資格者による作業を行う事。
- 4.はつり、清掃時、の小石等の一般車への飛散には、十分注意を行う。
- 5.火災防止処置を行う事。
- 6.手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。

7.一人作業の禁止